

令和3年度入学 総合型選抜 第2次選考
口頭試問（英語） 講評

問1

【出題のねらい】

基本的な句動詞を理解しているかを問うた。

【講評】

find out は、基本的な句動詞であるため、概ね多くの受験者が解答できていた。

問2

【出題のねらい】

本文中の語彙の理解ができているかを総合的に問うた。

【講評】

語彙を理解し、本文中から適切な単語を選ぶ問題であった。driver's license が解答であったが、名前や住所と解答している受験者が散見された。identification は、「身分証」という意味のため、名前と住所では不十分である。

問3

【出題のねらい】

本文の内容を理解しているかを問うた。

【講評】

問2を的確に解答できた上で、解く問題であった。問2の解答である identification は、記載された名前と住所で、データベースから登録されたアカウントを調べることができるのだが、正答率が低かった。

問4

【出題のねらい】

語彙を理解しているかを問うた。

【講評】

本文の語彙と近い語彙を選択する問題であったが、概ねできていた。

問 5**【出題のねらい】**

全体を理解した上で、適切なタイトルをつけることができるかを問うた。

【講評】

内容を理解した上で、さらに不定詞，現在分詞，過去分詞の理解ができているかがポイントであった。基本的な文法事項を理解していることが望ましい。

令和3年度入学 総合型選抜 第2次選考
口頭試問（数学） 講評

問1

【出題のねらい】

「データの分析」から、基本的な概念についての正確な知識と、具体的な数式処理の技術を問うた。

【講評】

二つのデータに関するそれぞれの中央値と第1四分位数を求める基本問題であった。処理自体はデータにより異なるが、多くの受験者が対応できていた。

問2

【出題のねらい】

絶対値記号の意味するものと同等なものを適切に選べるかを問うた。

【講評】

解答すべき選択肢は二つであった。あいまいな理解では、各選択肢における正誤を明確に判断できない。受験準備のため、多くの科目にわたる広範な知識が必要になるが、一つ一つ正確に積み上げていくことが望ましい。